

市参

一関市が主催する高校生を対象とした地域福祉ワークショップ(W.S)は25日、同市内の市総合福祉センターで開かれた。市内の高校生19人が高齢者や障害者、子育て世代など誰もが安心して暮らせる地域にするため



地域福祉ワークショップで地話し合う高校生ら

好奇心大事に 学び深めて

大東高・国際人を
目指す会講演

一関市大東町の県立大東高校(佐藤文也校長、生徒351人)は22日、「国際人を目指す会」講演会を開いた。2年生129人が海外経験豊富な講師から話を聞き、世界

から見た日本や海外の常識などに理解を深めた。

東京都のNPO法人国際人を目指す会が協力。商社に勤務し、ドバイや英国・ロンドンでエネルギーの貿易に関する仕事に取り組んできた芹沢健さんが講師を務めた。

芹沢さんは勤務したところのある国や都市について語り、ドバイは「石油

の国で、とても自由な社会。カースト制から逃れてインドから多くの人が来ていた」、ロンドンは「伝統を重んじ、人があまり群れない」と紹介。海外から見た日本人の気質について「真面目で我慢強く、細部にこだわる。一方で全員で決めたことにもこだわり、上下関係が厳しい」と長所や短所を挙げた。



海外の駐在経験を基に講演する芹沢さん

日本人の多くが成人すると勉強しなくなる点にも触れ「とにかくいろいろなことに興味を持って。好奇心を大事にし、自分のテーマを見つけてほしい」と呼び掛け、さまざまな分野の図書も紹介した。

大東町女性フォーラム第22回一関市大東町女性フォーラム2017(同町各種女性団体連絡協議会主催)は23日、大東コミュニケーションセンター

食文化伝承 家庭から

大東町女性
フォーラム

生徒を代表して謝辞を述べた小山紗英さんは「カースト制などで現代でも職業選択の自由のない国があることなど、海外の話をいろいろ知ることができたので、今後の進路選択に役立てたい」と感想を述べていた。



「室蓬ホール」で開かれた。「ともに輝きみんなで築く住みよい故郷」をテーマに講演などが行われ「写真」、参加者が女性の感性と視点から古里を元気にする方策を考え

纏振り加入を提言

市消防団員
意見発表会 藤野さん最優秀

一関市消防団員意見発表会(市消防団主催)と

県消防協会一関地区支部

ラップ吹奏技術発表会

(同支部主催)は26日、

同市東山町の東山地域交

流センターで開かれた。

意見発表会では藤野順さん(纏組)、ラップ吹奏

技術発表会では市消防団

花泉地域本部がそれぞれ

最優秀賞に輝いた。

意見発表会には8地域

本部と纏組から9人が出

場し、地域防災を支える

消防団活動への提言や団

員獲得に懸ける思いなどを5分の持ち時間で発表。市消防本部の高橋邦彦消防長や岩手日日新聞社の佐々木正善編集局次

長ら5人が審査に当たっ

た。

最優秀賞の藤野さん

は、憧れて志願した纏組

の団員数が減少傾向にあ

り、纏振りが地域に浸透

していないと感じること

から、各分団から5人ずつ2年任期で纏組に加入する制度を提言。纏振り

には必ずしも強靱な体力が必要なのではないと訴え、「今さら恥ずかしい」と言

うのは、自分自身が纏

に関心を持たないこと

から出る言葉だと思

う。実際に経験してみ

てほしい」と力を込めた。

最優秀賞を次の通り。(意見発表

会) 藤原千一(武樹(藤沢) 崎)加藤博文(大東) 佐々

会) 藤原千一(武樹(藤沢) 崎)加藤博文(大東) 佐々



意見発表会で最優秀賞に輝いた藤野さん



日ごろの訓練の成果を披露した吹奏技術発表会

ラップ吹奏には市消防団と平泉町消防隊が出場。陸手地方協力本部の皆川博之の審査員を前にパ隊が課題曲の練習曲を演奏した。

最優秀賞を次の通り。(意見発表会) 藤原千一(武樹(藤沢) 崎)加藤博文(大東) 佐々会) 藤原千一(武樹(藤沢) 崎)加藤博文(大東) 佐々町、東山▽特